



校長 春藤 英徳

弘前学院聖愛中学高等学校は
2011年に創立125年を迎えます。
120余年前に「女に教育は不要だ」といわれた時代。
それに反旗を翻し女子教育を始めたのが聖愛です。
その旗は小さな教会に立てられたものでした。
その翻りは小さなものでした。
しかし、そこに集う少女の胸に刻まれた
「正義・愛・献身」の思想は
のちに大きなうねりとなって世の中に
問いかけることになるのです。
例えば女人禁制といわれた神山岩木山。
それに異を唱え、多くの批判を浴びながらも登頂したのは
聖愛の生徒と教師でした。

聖愛は創立125年に向けて 新たな取り組みを始めます。

SINCE 1886
ここから聖愛が始まった。

明治19年、弘前教会の一室に
聖愛は誕生しました。



私たちは125年を迎えるにあたって
その原点に立ち返り
今の聖愛を考えました。
誰もが見向きもしなかった女子に
教育を始めた設立当初。
非常識だったかもしれないけれど
時代を先取りして行った岩木山登山。
視点は常に時代の先がありました。
そして聖愛は21世紀に向けて
男子にもその門戸を開きました。

今、不安定な経済状況が続く、この時代に。
今、教育力の低下が叫ばれている、この時代に。
今、他者との関わりが薄れてきている、この時代に。
聖愛は何が出来るのか。

聖愛は125年に向けて新たな取り組みを始めます。



STEP TO 125

● 入学金・授業料など校納金を大幅に引き下げます。

聖愛高校は生徒一人一人が意欲的に学ぶことのできる創意工夫のある教育の展開をはかってきました。個性を伸ばし、創造性を養う環境があります。また、常に足下に目を向け、地域貢献できる実践力と優しい心をもった生徒の育成にも力を入れてきました。このような聖愛の教育を少しでも多くの人に受けてもらいたいと考え、授業料をはじめとする校納金を引き下げることになりました。物価の高騰によって、各家庭の経済状況は大変厳しいと思います。そういう状況だからこそ、保護者の皆様の負担軽減を図りたいと考えました。(改訂後の校納金は裏面参照)



● 弘前学院大学へ進学する門戸を広げます。

弘前学院大学では1999年の社会福祉学部の設置以来、日本語・日本文学科と社会福祉学科に大学院を、さらに2005年には看護学部を設置し、改革に取り組んで参りました。その結果、現在、弘前学院大学は3学部4学科および大学院2研究科を有する総合大学となっております。これにより、聖愛高校から弘前学院大学を通じて、より体系的に学べる教育環境が整いました。そこで、従前より実施しておりました指定校I期で入学する聖愛生に対しての入学金半額免除の措置に加え、一人でも多くの生徒が弘前学院大学で学ぶ機会を得られるように、2009年3月以降の聖愛高校の卒業生から、試験区分を問わず、入学検定料の全額免除、学費の10%減額の優遇措置がとられることになりました。聖愛高校から弘前学院大学へ、より進学しやすくなります。



● 心の教育を推進します。

聖愛の建学の精神は「畏神愛人」—神を畏れ、人を愛する—です。若者の心が荒んできている今日、キリスト教に基づいた心の教育は大きく注目されています。自分がかじけそうになったときに寄り添える柱。常に弱者に目を向け慈しむ気持ち。そして困っている人に手を差し伸べられる勇気。聖書の教えは優しさや勇気を育てます。120余年前に立てた旗をいっそう大きく振り続けたいと思います。

